

明治  
150年  
特別  
企画展

全国から戊辰戦争ゆかりの資料が結集！  
かつてない戊辰戦争総合展

# 明治元年の日本と土佐

## 戊辰戦争それぞれの信義



平成30年(2018)

3月21日(水)祝 - 5月28日(月) 会期中無休

高知県立高知城歴史博物館

主催：高知県立高知城歴史博物館

後援：山形県・福島県・栃木県・山口県・佐賀県・鹿児島県  
高知県・高知県教育委員会・志国高知幕末維新推進協議会

◎開館時間／月～土曜日9:00～18:00 日曜日8:00～18:00 ※展示室への入室は開館の30分前まで  
\*4月6日(金)～8日(日)までは開館延長(21:00まで) \*4月29日(日)～5月6日(日)は8:00～18:00まで

◎観覧料／700円／団体(20名以上)560円／高知城とのセット券890円  
◎年間観覧券2,000円 ※観覧券は当日のみ有効(年間観覧券は除く)

◎高校生以下は無料、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料、高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

高知城歴史博物館は「志国高知 幕末維新博」のメイン会場です

### ◎記念シンポジウム [1]

#### 「それぞれの戊辰戦争 —徳・会・薩・土の立場と対応—」

無料  
要申込

日時：5月19日(土) 13:00～17:00  
会場：当館1階ホール

発表者：原 史彦氏(徳川美術館 学芸部部長代理)  
阿部 綾子氏(福島県立博物館 主任学芸員)  
吉満 庄司氏(鹿児島県明治維新150周年推進室 専門員)  
高木 翔太(高知県立高知城歴史博物館 学芸員)

司会：渡部 淳(高知県立高知城歴史博物館 館長)  
内容：徳川、会津、薩摩、土佐、各々がこだわったそれぞれの信義を各地域の学芸員が紹介し、改めて戊辰戦争をふりかえります  
定員：90名、参加費無料、要申込

◎写真展 土佐の私年号『天晴』 [4]  
会期：平成29年12月22日～平成30年5月28日  
会場：当館1階(無料エリア)  
内容：高知県内で確認された幕末の私年号「天晴」を写真パネルで紹介

◎プレ歴史講座 [5]  
①日程：1月27日(土)  
講師：横山和弘(当館副館長兼企画課長)  
題目：「大政奉還から鳥羽・伏見の戦い」  
②日程：2月24日(土)  
講師：高木翔太(当館学芸員)  
題目：「甲州勝沼の戦いから北関東の戦い」  
③日程：3月17日(土)  
講師：渡部 淳(当館館長)  
題目：「東北・北越の戦いから戊辰戦争終幕へ」

時間：14:00～15:30  
会場：当館1階ホール、  
定員：先着90名、参加費無料、申込不要

◎特別企画展メイキング物語 [6]  
日時：3月11日(日)14:00～15:30  
会場：当館1階ホール  
講師：横山和弘(当館副館長兼企画課長)  
内容：特別企画展開催に至るまでの経緯、展示の見所などを紹介  
定員：90名、参加費無料、申込不要

◎映画会 [7]  
日時：3月24日(土)・25日(日)  
[午前の部]10:00～12:00  
[午後の部]14:00～16:00  
会場：当館1階ホール  
内容：幕末維新时期を主題とした映画作品を午前の部と午後の部で1本ずつ、二日間に亘って紹介(両日同内容)。  
定員：120名、参加費無料、要申込

次回特集展 「志士」の国・土佐 —土佐藩の郷土—  
6月8日(金)～7月30日(月)

次回企画展 土佐藩歴代藩主展 —戦国から明治 山内家の300年—  
6月29日(金)～9月3日(月)

◎特別企画展古文書講座 [8]  
日時：3月31日(土) 14:00～15:30  
会場：当館1階ホール  
講師：渡部 淳(当館館長)  
題目：「土佐藩兵住江源馬書状 ～戊辰戦争従軍兵士の声～」  
定員：先着90名、参加費無料、申込不要

◎特別講座「戊辰戦争の墓碑をたどる」 [9]  
日時：4月14日(土) 14:00～16:00  
会場：当館1階ホール  
講師：高木翔太(当館学芸員)・高校生墓碑調査隊  
内容：戊辰戦争で戦死した土佐藩兵の墓碑を紹介  
高校生による墓碑調査成果の発表もあり  
定員：先着90名、参加費無料、申込不要

◎音楽会 [10]  
日時：4月28日(土) 14:00～16:00  
会場：高知城ホール(高知市丸ノ内2-1-10)  
演奏：野中秀鳳氏(秀鳳流日本吟詠会総本部宗家)  
永田斉子氏(月琴奏者)  
高知県立高知丸の内高等学校音楽科 他  
内容：古代から明治維新时期までの音楽の流れをビデオと生演奏でふり返る  
定員：200名、参加費無料、要申込

◎幕末維新6講座 第4回 [11]  
日時：5月12日(土) 14:00～15:30  
会場：当館1階ホール  
講師：東京大学史料編纂所 教授 保谷 徹氏  
題目：「戊辰戦争の軍事史」  
定員：90名、参加費無料、要申込

◎中高生のための特別歴史講座 [12]  
幕末・維新の学び方  
～理解しやすい整理の仕方～  
日時：5月13日(日) 14:00～16:00  
会場：当館1階ホール  
講師：渡部淳(当館館長)  
内容：戊辰戦争を軸に明治維新时期の日本と近代史の概要を分かりやすく紹介  
定員：90名、参加費無料、要申込  
(どなたでも参加可能ですが中高生優先)

### ◎明治150年記念交流集会

①大懇親会 [2]  
日時：5月19日(土) 19:00～21:00  
会場：高知会館(高知市本町5-6-42)  
内容：記念シンポジウムの発表者を受けて行う懇親会  
定員：150名、参加費5,000円、要申込  
※お支払いは、振込用紙を参加券に添えてお送りいたしますので、5月10日までに振り込みください

5,000円  
要申込

②維新ゆかりの地バスツアー [3]  
日時：5月20日(日) 8:30～12:30  
見学コース  
【幕末民権コース】当館～県立坂本龍馬記念館～高知市立自由民権記念館～当館  
【維新志士コース】当館～佐川町立青山文庫～佐川町の街並み見学～当館  
【城下散策コース】当館～致道館跡～山内神社～山内容堂邸跡～板垣退助生誕地～片岡健吉生誕地～当館  
定員：各40名(県外の方・大懇親会参加者優先)城下町散策コースは20名  
参加費無料(要観覧料)、要申込(希望するコースをご連絡ください)

【城下散策コース】は  
10:00～12:00(徒歩)

### ◎学芸員による展示解説

日時：会期中の毎週日曜日 10:00～(約40分)  
会場：特別企画展展示室  
定員：先着20名(展示室の観覧券が必要)

### ◎我が家の明治維新

明治維新や戊辰戦争に関する資料の情報収集を行っています。資料をお持ちの方、お家に伝わる言い伝え等をご存知の方は、当館までご連絡ください。  
例：古文書、手紙、日記、写真、墓碑など

### ◎関連行事 [1][2][3][7][10][11][12]の申込方法

電話・ハガキ・FAXのいずれかにて、お申し込みください。お申し込みの際に、お名前・ご住所・お電話番号、どの催しに参加希望かをご連絡ください。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。(抽選結果は、参加券の発送をもって代えさせていただきます)

### 【上記申込の締切】

各関連行事が行われる2週間前を申込の締切日とさせていただきます。  
※県外(遠方)の方で、旅行計画などのため、参加の可否を早めにお知りになりたい方は、ご相談ください。

### 【喫茶・ミュージアムショップからのお知らせ】

会期中に喫茶では、戊辰戦争ゆかりの地の食材を使ったモーニングメニューが登場予定です。ミュージアムショップでは、戊辰戦争ゆかりの地の物産や書籍等を販売します。

高知県立  
高知城歴史博物館  
Kochi Castle Museum of History

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5  
TEL 088-871-1600/FAX 088-871-1619  
<http://www.kochi-johaku.jp>

■開館時間／月～土曜日9:00～18:00  
日曜日8:00～18:00

■展示室への入室は開館の30分前まで。  
\*高知城花回廊のため、4月6日(金)～8日(日)までは開館延長(21:00まで)中止の場合は通常開館  
\*4月29日(日)祝～5月6日(日)は8:00～18:00まで  
■休館日／会期中無休

■観覧料／700円(560円)  
\*( )は団体20名以上の料金

■年間観覧券 2,000円  
■高知城とのセット券 890円  
●高校生以下は無料。  
●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。  
●高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。  
●観覧券は当日のみ有効です。(年間観覧券は除く。)



### ■交通アクセス

●お車をご利用のお客さま／高知自動車道高知ICから約15分。一般乗用車の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり。  
●JRをご利用のお客さま／JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き約5分)、はりまや橋下車、乗り換え(鏡川橋または朝倉またはの方面行き約5分)、高知城前下車、徒歩3分。

高知県立  
高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History



# 明治元年の日本と土佐

## 戊辰戦争 それぞれの信義

平成30年(2018)は「明治元年」(慶応4年、1868年)から150年となる節目の年です。

明治元年、五箇条の誓文や政体書の公布など、新政府は、新しい政策を次々と打ち出し、日本は近代化へ大きな一歩を踏み出しました。しかしその一方で、国内では新政府軍と旧幕府軍がそれぞれの「信義」を掲げて戦った戊辰戦争が繰り広げられました。

今回の特別企画展には、土佐藩に関する資料はもちろん、東北から九州まで、数々の戊辰戦争ゆかりの資料が集まります。

戊辰戦争とは何だったのか、そして「明治元年」とはいかなる年であったのか、全国的な視点から考えます。

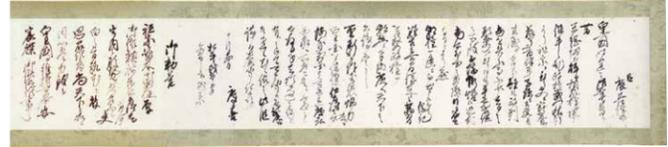
### 序章

## 戊辰開戦前夜

大政奉還、王政復古の政変など、鳥羽・伏見の戦いへと至る戊辰開戦前夜を振り返ります。

大政奉還上表文並びに勅許等写 \*4/21~5/28展示

江戸時代 慶応3年(1867)、東京・寛永寺現龍院 約680年続いた武家政権に終止符を打つ 將軍徳川慶喜の大政奉還上表文



【重要文化財】二条城二の丸御殿障壁画 黒書院 四の間 秋草扇面散図 \*4/21~5/28展示

江戸時代 17世紀、京都・元離宮二条城事務所 大政奉還の舞台となった二条城の御殿を飾った狩野派の障壁画



### 第一章

## 激突、

## 鳥羽・伏見

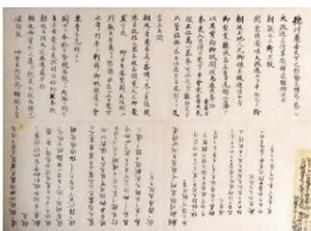
鳥羽・伏見の戦い、徳川慶喜の江戸への帰還、慶喜追討令の発布、そして新政府軍の東征出発など、戊辰戦争の開始から戦火が東国に移りゆく経緯をたどります。

錦旗(錦の御旗)

慶応4年(1868)、高知県立高知城歴史博物館 新政府軍の象徴となった 金色の菊花紋入り錦の御旗

【重要文化財】徳川慶喜追討二付沙汰書 \*3/21~5/9展示

慶応4年(1868)、山口・毛利博物館 鳥羽・伏見の戦い後、新政府が発した慶喜追討の沙汰書



## 第二章 関東の情勢

甲州勝沼での近藤勇率いる甲陽鎮撫隊との戦い、江戸無血開城、日光・今市での激戦、上野戦争など、戊辰戦争の経過をたどり、発足した新政府の新しい政策の意義を考えます。



新選組大幟(東照大権現大幟)

19世紀、京都・雲山歴史館 新撰組隊士島田魁が胴に巻き付けて各地を転戦、弾痕と血のり痕がある大幟

江戸時代 天保6年(1835) 佐賀・武雄鍋島家資料 武雄市 日本人の手によって製造された最初の西洋式大砲

【重要文化財】モルチール砲 \*4/29~5/28展示



### 終章

## 戊辰戦争の 終結とその後

榎本武揚が目指した箱館政権、五稜郭をめぐる攻防戦、戦後の処分と論功行賞、会津藩のその後、戊辰戦争がもたらした光と影に迫ります。

箱館大戦争之図(錦絵)

明治2年(1869) 東京・学習院大学史料館 榎本武揚や土方歳三の箱館戦争での奮戦を描いた錦絵



## 第二章

## 東北の 同盟と 新政府

奥羽越列藩同盟の成立、東北各地での戦い、同盟の瓦解、それぞれの「信義」が交錯する複雑な政治情勢を俯瞰します。



白河小峰城木製鬼瓦

江戸時代、福島・白河市歴史民俗資料館 白河小峰城での戦いの壮絶さを伝える 焼け跡が残る木製鬼瓦



【国宝】松平容保追討沙汰書写 \*4/20~5/9展示 慶応4年(1868)、山形・米沢市上杉博物館 新政府が発した松平容保追討の沙汰書



家訓(松平容保題字、山川浩筆)

明治時代、福島県立博物館 会津武士の精神的な拠り所 第一条に記されるのは將軍家への絶対的な忠誠



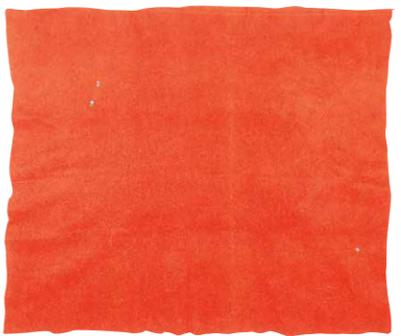
太刀 銘 二本松住国秀造 \*4/27~5/28展示

江戸時代、高知県護国神社 二本松の戦いにおける戦利品として 戊辰戦争後に高知県護国神社に奉納された太刀



河野広中所用 陣羽織

江戸時代 19世紀、福島・三春町歴史民俗資料館 戊辰戦争で板垣退助と出会い後に民権家となる河野広中の陣羽織



泣血氈

明治元年(1868)、福島・会津若松市 会津藩降伏の際、式場に敷かれていた緋毛氈



奥羽越列藩同盟旗

慶応4年(1868)、山形・宮坂考古館 紺地に白で五芒星が染め抜かれた奥羽越列藩同盟軍の象徴



薩摩・長州・土佐兵手旗

慶応4年(1868)、個人蔵 (鹿児島県歴史資料センター黎明館寄託資料) 新政府軍を代表する薩長土3藩が戦場で用いた手旗